

修了生インタビュー



奥田 真さん

[就職先] くら寿司株式会社

北陸先端科学技術大学院大学
融合科学共同専攻 博士前期課程
2025年3月修了

Q1. 現在はどのような仕事をしていますか？

くら寿司のテクノロジー開発部で、社内システムの開発を行うエンジニアをしています。弊社は「新しい価値の提供」をコンセプトの一つとしており、その一環で『ビックらポン!』をはじめとした「食×エンタメ」の領域に取り組めることに、面白みとやりがいを強く感じています。

Q2. JAISTで学んだことが、現在どのようにいかされていますか？

研究で培った「課題設定・仮説・検証」という思考法や、伝わるプレゼン能力が、現在のシステム提案や社内課題の解決に直結しています。また、教授や先輩方のご指導のもとで実施したデータ分析やアプリ開発の経験、そして「楽しませるゲームAI」を追求した知見が、現在のエンタメ体験の開発にも大きく活かされていると思います。

Q3. JAISTで学んで良かったことや、思い出を教えてください。

JAISTは研究に没頭できる環境で、とくにJAISTではオンラインで論文が無料で読めるのは最高でした。また、融合科学共同専攻では金沢大学での講義受講もあり、外部との繋がりや多角的な視点を得る貴重な機会となりました。多様なバックグラウンドを持つ仲間との交流は、今振り返っても非常に刺激的でした。

Q4. 今後の目標や挑戦していきたいことを教えてください。

JAISTで学んだ知見を活かし、飲食業界に新たな価値や楽しさを実装していきたいと思っています。外食に「体験」が求められる今、AIなどの技術を自然な形で融合させ、お客様が思わず笑顔になるような、より進化したエンターテインメント体験を社会に届けていくことが、私の大きな目標です。